

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立額小学校] 担当教諭名 [加藤 政昭] (6年3組 28名)

交流相手国 [カナダ]

海外学校名 [Edward Johnson Public School] 担当教諭名 [Brenda Sherry]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢を知り、日本を知り、世界を知ろう	40

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	金沢を知り、カナダを知ろう
絵に込めたメッセージ	金沢は美しい伝統文化が息づき、21世紀美術館や北陸新幹線など新しい文化、技術の発信の地でもある。自分たち学んだ金沢のすばらしさをカナダの友達へ伝え、カナダのすばらしさも学びたいというのが絵に込められた趣旨である。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域の文化を改めて学ぶ機会になった。 ・カナダに興味をもち、主体的に学ぶ機会になった。 ・小学生でも立派な国際交流ができることを体感し、民間の国際交流の意義について考える機会にもなった。 ・両国で一体感のある素晴らしい作品ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの学校生活について情報交換したかったが、意思の疎通が十分でなく、その点はあまりできなかった。 ・こまめな情報交換をしたかったが、返信が遅い時が多く、連絡のやりとりは迅速とは言えなかった。 ・スカイプの申し出がカナダからあったが、時差が大きく断念した。しかしビデオメッセージのやりとりでも十分なコミュニケーションにはなった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・外国の存在が身近なものになった。特にカナダは日常意識することのない国だったが、今でも「行ってみたい国」の一つである。 ・政府間では関係が良好と言えない国もあるが、民間で良好な交流ができていている場合はある。自分たちの活動が、真に国際親善につながることを学んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育がこれほどまでに簡単で、ダイナミックに行えることに感銘を受けた。子ども自身が国際交流の最前線に立てることは素晴らしいと思った。 ・英語には自信がなかったが、翻訳サイトなども活用しながら英語によるコミュニケーションに挑んだ。何とかなるものだとし自信がついた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	画用紙に自己紹介を書いた紙を持って、ビデオ撮影。フォーラムを通して送った紙には自分の名前の他、趣味や特技、夢を書いた。	慣れない英文に苦戦しながらも、カナダの小学生に自分のことを伝えようと、一生練習したスピーチしていた	総合
テーマ学習	10月～12月	10月は金沢の文化や歴史について調べ学習をした。カナダについても文献を集め、自分でテーマを決めて学習した。カナダに留学経験のある学生を招いてカナダについて知る授業も行った。	自分たちが住んでいる地域について改めて知ることがあった。また、カナダについて興味がわき、身近に感じられるようになった。	総合
構図決定	10月11月	フォーラムで相手校の先生と連絡をとり、互いの町の自然や文化を絵に描くことで一致。児童が原画を作成した。	実行委員が中心になり原画を作成。金沢の自然や文化を描くということで、一生懸命考えて描いていた。	総合
壁画制作	11月12月	実行委員が原画から下書きをつくり、児童全員で色を塗った。作品の裏には児童全員で日本語と英語のサインを書いた。12月末に発送。	多くの児童が夢中になって色塗りに取り組んだ。休み時間や放課後にも熱心に取り組んでいた。	総合
鑑賞・振り返り	2月3月	・児童一人一人手紙の送付 ・活動のふりかえり。 ・カナダから壁画が到着。児童全員で鑑賞。相手校へ報告。	・実際にカナダへ送る手紙を書くことで、一生懸命描いていた。 ・日本とは違う建物や動物の絵に文化の違いを感じていた。	英語 総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	児童一人一人が自分でテーマを決めて調べ活動をした。伝統文化だけでなく、新しい文化を取り上げる児童もいた。
異文化の理解	A	4	カナダに興味をもっていることが、日常の言動やアンケートからわかった。ゲストティーチャーによる授業が楽しく効果的だった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	ビデオメッセージメッセージ、手紙づくりでは、どの児童も一生懸命だった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	多くの情報の中から精選することには課題が残った。しかし様々な方法を使って、多くの情報を収集することはできた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	壁画制作の過程で、実行委員同士で協力したり、全員で協力したりする中で、児童の交流が深まった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	壁画制作の過程で、役割を分担したり助け合ったりする力がついた。
学習を追究する意欲	B	3	地域の文化、カナダの文化について調べる活動では、児童によって取組に個人差があった。成果のあった児童も多いが。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	作品としては素晴らしいものになったが、原画を作成したのは一部の児童なので、全員の力を伸ばしたとは言いがたい。
作品を鑑賞する力	C	2	卒業式2日前の到着ということもあり、鑑賞の時間は十分にとれなかった。